2019 年 6 月

**第 8 回日本タバコフリー学会学術大会　大会長　金子昌弘**
（公益財団法人　東京都予防医学協会保健会館クリニック所長）
（特定非営利活動法人　日本タバコフリー学会　副代表理事）

## 第 8 回日本タバコフリー学会学術大会のご案内とご参加のお願い

第 7 回の学術大会の閉会式および懇親会でもお知らせいたしましたが、今般**第 8 回日本タバコフリー学会学術大会**をお世話することになりました。

日時は 2019 年 9 月 22 日の一日のみで、場所は東京新宿区信濃町の**東京都医業健康保険組合会館（東医健保会館）大ホール**です。今回の**テーマは「喫煙者ゼロの職場を目指そう」**～Tobacco-Free Workers Initiative～としました。

オリンピックを控えて受動喫煙対策のための法律や条例の整備が進んでいますが、喫煙者からの呼出煙や残留煙による三次喫煙も考慮すると、喫煙者がいるかぎり、完全に受動喫煙を防止することは不可能です。

最近では健康に関する企業を中心に、習慣的な喫煙者のいない会社が誕生していますので、今回のテーマも**「喫煙者ゼロの職場を目指そう」**としました。個々の会社だけでなく、その業界すべての禁煙を目指したいと考えています。

どのように高性能な喫煙室を作るよりも、喫煙者がいないことが最も確実な受動喫煙の防止ですし、しかも全く費用も掛からない方法でもあります。

**大会長講演**は、**「全国 33 健診施設の職員の喫煙状況」**について、予防医学事業中央会が行った喫煙に関するアンケートの結果を中心に、健康に関わる職場としての喫煙に関する取り組みについてお話しさせていただきます。

**海外招請講演**は、**韓国国立がんセンターのホングアン・スー博士**をお招きし、世界トップクラスの**「韓国における禁煙支援」**の現状をご報告いただきます。

国内からは**特別講演 I** として、**日本肺がん患者連絡会の長谷川一男氏**に**「受動喫煙撲滅プロジェクト」**をお話しいただきます。同氏は非喫煙者にも拘わらず、受動喫煙によると思われる IV 期肺がんに罹患し、国会で参考人として受動喫煙ゼロを求める意見を述べられました。その際、レストラン業界出身の国会議員から心ないヤジを浴びたことが報道され、図らずも業界や政治家の受動喫煙に対する危機意識のなさを露呈した事になりました。

**特別講演Ⅱ**では、**「喫煙率０％までの２年９か月の軌跡」**を**株式会社ティーペックの砂原健市社長**に語っていただきます。同氏は毎月の社長訓示で、熱心に社員に直接語りかけることなどにより、喫煙社員ゼロを実現されました。

**教育講演Ⅰ**では、**「加熱式タバコと電子タバコの有害性」**について**産業医科大学の欅田尚樹教授**に解説していただきます。**教育講演Ⅱ**では**フリージャーナリストの石田雅彦氏**に、潤沢な**「タバコ資金に操られるマスメディア」**について具体的に示していただきます。

**ランチョンセミナー**では、**日本 CT 検診学会理事長の中川徹先生（日立健康管理センタ副センタ長）**に、**「肺癌 CT 検診現場での禁煙支援」**について解説していただきます。

最後の**シンポジウム**も今大会のテーマに沿って、**「喫煙者ゼロの職場を目指そう」**として産業医の方々にも加わっていただき、各職場から一人でも喫煙者を少なくするにはどうすればよいか、また新たに採用する職員は非喫煙者に限ると明言することの問題点や効果などについても検証していきたいと思います。

**テーマに関連した一般演題も歓迎**します。時間的な制約もあり、例年に比べて発表時間が短くなるかもしれません。どうぞ、ご了承ください。

例年大いに盛り上がります**懇親会**は、一昨年の第 6 回学術大会の懇親会場のカフェ・シェーキーズの予定でしたが、新宿区霞ヶ丘町 3-2 の神宮外苑ゴルフ練習場内１Ｆ**カフェレストラン・グリーンクレス（JR 信濃町駅から徒歩 10 分、電話** 03-3404-0035）に変更となりました。リラックスした雰囲気の中で、大会での議論を発展させ、懇親を深め、楽しい思い出を作っていだければ幸いです。禁煙替え歌の発表など、余興や出し物も大いに歓迎します。

どうか、皆様お誘いあわせの上、多数ご参加ください。
**皆様のご参加を、心からお待ちしております。**